



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 株式会社JMS

上場取引所

東

コード番号 7702 URL <https://www.jms.cc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 桂 龍司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長

(氏名) 落合 芳紀

TEL 082-243-5844

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	15,546	△3.9	△176	—	△283	—	△459	—
2025年3月期第1四半期	16,177	10.8	42	—	194	—	△92	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △731百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 1,200百万円 (4.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△18.76	—
2025年3月期第1四半期	△3.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	80,332	39,986	49.7
2025年3月期	81,432	40,927	50.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 39,905百万円 2025年3月期 40,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		8.50	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,800	△0.1	350	125.3	300	—	100	—	4.08
通期	68,000	△2.5	900	3.1	600	16.5	200	123.4	8.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	24,733,466 株	2025年3月期	24,733,466 株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	230,102 株	2025年3月期	229,777 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	24,503,443 株	2025年3月期1Q	24,481,973 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
（1）当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（セグメント情報等の注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	9
（継続企業の前提に関する注記）	9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、「かけがえのない生命のために」の創業精神の下、「医療を必要とする人と支える人の架け橋となり、健康でより豊かな生活に貢献することですべての人々を笑顔にする」ことを目指して、経営の品質と企業価値の向上に努めております。

事業活動としましては、輸液・栄養領域、透析領域、外科治療領域、血液・細胞領域の4つの領域を中心に事業を展開し、製品の開発、生産、販売を進めております。

当第1四半期連結累計期間は、日本国内においては、医療用手袋の販売が減少したものの、注力事業として取り組みを進める薬剤調製・投与クローズドシステムや、需要が拡大している摂食嚥下関連用品の販売が継続して伸長しました。海外においては、A V F 針（血液透析用針）の販売が堅調に推移した一方で、北米向け成分献血用回路および中国向け血液透析事業に係る販売が減少しました。

以上の結果、売上高は、前年同四半期に比べ6億30百万円減少の155億46百万円（前年同四半期比3.9%減）となりました。

利益につきましては、製造経費等の削減効果は得られたものの、海外主力製品の減収に加え、販売費が増加したため、営業損失は1億76百万円（前年同四半期は営業利益42百万円）となりました。また、持分法による投資利益があった一方で、為替が不利に推移したため、為替差損を計上した結果、経常損失は2億83百万円（前年同四半期は経常利益1億94百万円）となり、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億59百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失92百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（日本）

薬剤調製・投与クローズドシステムおよび摂食嚥下関連用品の販売が継続して伸長したものの、中国向け血液透析事業および急性血液浄化製品等の販売が低調に推移したことにより、売上高は105億45百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。また、セグメント利益については、労務費や電力費などの増加に加え、営業活動による販売費が増加したため、1億21百万円（前年同四半期比52.0%減）となりました。

（シンガポール）

北米向け成分献血用回路の販売が減少したことにより、売上高は56億39百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。また、セグメント損益については、主力製品の減収影響に加え、為替が不利に推移したため、為替差損を計上した結果、2億48百万円の損失（前年同四半期は40百万円の利益）となりました。

（中国）

血液透析装置およびA V F 針の販売が低調に推移したことにより、売上高は9億22百万円（前年同四半期比8.7%減）となりました。また、セグメント利益については、原材料費の高騰や労務費の増加はあるものの、為替が有利に作用したため、1百万円（前年同四半期は36百万円の損失）となりました。

（フィリピン）

日本向け輸液セットの販売が増加したものの、アジア向け血液バッグや成分献血用回路の販売が減少したため、売上高は8億39百万円（前年同四半期比7.8%減）となりました。また、セグメント損益については、血液バッグの販売減少に伴う稼働率の低下のほか、労務費等の増加により、1億50百万円の損失（前年同四半期は1億49百万円の損失）となりました。

（ドイツ）

欧州向けA V F 針や血液バッグの販売が堅調に推移したため、売上高は10億80百万円（前年同四半期比15.1%増）となりました。また、セグメント利益については、増収効果により、1億29百万円（前年同四半期比73.9%増）となりました。

（その他）

北米向けA V F 針の販売が好調に推移したことなどにより、売上高は14億83百万円（前年同四半期比28.8%増）となり、セグメント損益については、43百万円の損失（前年同四半期は12百万円の損失）となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11億円減少の803億32百万円となりました。資産、負債及び純資産の内容は次のとおりであります。

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1億63百万円減少の456億9百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が減少したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ9億36百万円減少の347億22百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が減少したためであります。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億22百万円増加の257億51百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が増加したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億81百万円減少の145億94百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が増加したためであります。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べ9億40百万円減少の399億86百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定の変動によるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.4ポイント低下の49.7%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

経済・経営環境における先行き不透明な要素が依然として払拭されていない中、各種リスクが当社グループの業績に与える影響を引き続き注視しております。現時点におきましては、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想について、2025年5月9日公表時から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,511	6,196
受取手形及び売掛金	18,636	17,052
商品及び製品	10,913	11,204
仕掛品	3,667	3,890
原材料及び貯蔵品	6,106	6,348
その他	945	923
貸倒引当金	△7	△5
流動資産合計	45,773	45,609
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,841	9,617
機械装置及び運搬具（純額）	8,821	8,938
その他（純額）	9,627	8,927
有形固定資産合計	28,291	27,483
無形固定資産		
のれん	296	276
その他	647	627
無形固定資産合計	943	904
投資その他の資産		
投資その他の資産	6,498	6,413
貸倒引当金	△75	△78
投資その他の資産合計	6,423	6,334
固定資産合計	35,658	34,722
資産合計	81,432	80,332

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,951	7,231
短期借入金	5,072	5,813
1年内返済予定の長期借入金	6,002	5,897
未払法人税等	357	88
賞与引当金	1,040	635
その他	5,203	6,084
流動負債合計	25,629	25,751
固定負債		
長期借入金	11,793	11,645
役員退職慰労引当金	171	168
退職給付に係る負債	574	586
資産除去債務	329	335
その他	2,006	1,858
固定負債合計	14,875	14,594
負債合計	40,504	40,345
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,411	7,411
資本剰余金	10,351	10,351
利益剰余金	16,723	16,055
自己株式	△177	△177
株主資本合計	34,308	33,640
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,073	1,059
為替換算調整勘定	5,453	5,205
その他の包括利益累計額合計	6,526	6,264
非支配株主持分	91	81
純資産合計	40,927	39,986
負債純資産合計	81,432	80,332

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	16,177	15,546
売上原価	12,541	11,995
売上総利益	3,635	3,551
販売費及び一般管理費	3,592	3,727
営業利益又は営業損失(△)	42	△176
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	31	46
持分法による投資利益	102	55
為替差益	79	—
その他	25	21
営業外収益合計	242	125
営業外費用		
支払利息	79	84
為替差損	—	144
その他	12	4
営業外費用合計	91	233
経常利益又は経常損失(△)	194	△283
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産廃棄損	5	1
特別損失合計	5	1
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	189	△282
法人税、住民税及び事業税	28	81
法人税等調整額	248	104
法人税等合計	277	185
四半期純損失(△)	△87	△468
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4	△9
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△92	△459

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△87	△468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	91	△14
為替換算調整勘定	1,196	△248
その他の包括利益合計	1,288	△262
四半期包括利益	1,200	△731
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,191	△721
非支配株主に係る四半期包括利益	9	△10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 2	合計
	日本	シンガ ポール (注) 1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,855	3,612	608	10	938	15,025	1,152	16,177
セグメント間の内部 売上高又は振替高	850	2,125	401	900	—	4,278	—	4,278
計	10,705	5,738	1,010	911	938	19,303	1,152	20,455
セグメント利益又は損失(△)	252	40	△36	△149	74	180	△12	168

(注) 1 「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2 「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイ、中国の一部の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	180
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△12
セグメント間取引消去	△101
持分法投資利益又は損失(△)	101
その他の調整額	25
四半期連結損益計算書の経常利益	194

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)2	合計
	日本	シンガ ポール (注)1	中国	フィリ ピン	ドイツ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,725	2,810	437	8	1,079	14,062	1,483	15,546
セグメント間の内部 売上高又は振替高	819	2,828	485	830	0	4,964	—	4,964
計	10,545	5,639	922	839	1,080	19,027	1,483	20,511
セグメント利益又は損失(△)	121	△248	1	△150	129	△146	△43	△189

(注) 1「シンガポール」の区分は、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでおります。

2「その他」の区分は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイ、中国の一部の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△146
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△43
セグメント間取引消去	△169
持分法投資利益又は損失(△)	57
その他の調整額	17
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△283

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	984百万円	932百万円
のれんの償却額	9	9